



新年度が始まりました！

いつもファミサポ事業にご理解ご協力いただきありがとうございます。

今年度も地域みなさんに寄り添った子育て支援ができるよう、心を込めてお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度(4月～3月末)の活動状況を報告します。



【会 員 数 183名】

●おねがい 131名 ●まかせて 49名 ●どっちも 3名

【活動依頼件数 269件】

●送迎 26件 ●預かり 91件 ●送迎&預かり 152件



【事業報告】

●保育サービス講習会 1回実施(11/11・12)

●レベルアップ講習 3回実施

①6/8 交通安全教室 ②8/30 傾聴～コミュニケーション～

③2/1 こどもの発達障害について理解しよう

●ファミサポ交流会 1回実施(11/8) ※県事業と共催

●ファミサポ通信 3回発行



令和7年度もご利用(活動)いただき、本当にありがとうございました。

ファミサポに多い利用内容は、以下のようになっています。

1. 保育園降園後や放課後児童クラブ終了後のお迎え & お預かり
2. 土日祝のお預かり
3. 習い事の送迎

～はじめて利用された方より～
ぐりぐらひろばで預かってもらいました。
兄妹をお願いしましたが、とてもうれし
うだったので安心しました。



ご 報 告

2月1日(日)、TOMOはうす 代表 久武夕希子先生をお招きして、令和7年度第3回目となるレベルアップ講習『こどもの発達障害を理解しよう』を実施しました。

ファミサポ会員のほか、現役パパママや放課後児童クラブの支援員、その他地域の方々にも参加いただき、発達障害の特性や対応するときのヒントを学びました。

参加して下さったみなさま、ありがとうございました。



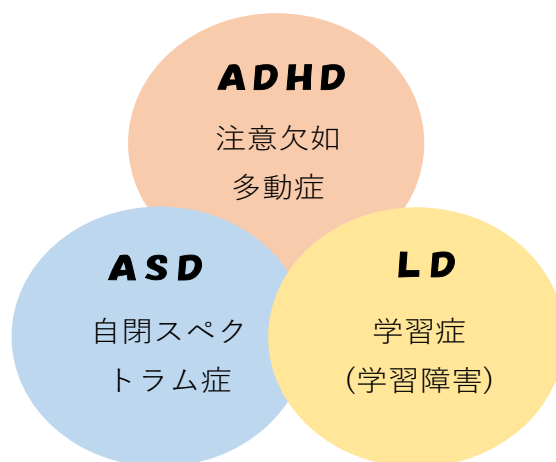
◆誰にでも、凸凹(得意・苦手)はあるもの◆

どんな人でも得意なこと・苦手なことはありますよね。でも、その度合いが極端になってくると、日常生活で困りごとが出てくるかもしれません。

◆主な発達障害は、右図のように3つ◆

人によって特性には違いがあり、いろいろな障害が複雑に重なって現れることもあります。

でも、病気ではないので無理に治そうとする必要はないそうです。周りの人の理解や、対応の仕方を少し工夫することで、その人が持っている能力が発揮できたり、生きづらさが軽減される可能性があるそうです。



生きづらさを抱える人や周りにいる人を理解するために、久武先生のおススメの本をご紹介します



ヒトはそれを『発達障害』と名づけました

2019年10月4日発行

著者 …… ダックス

監修 …… 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター (DACセンター)

印刷 …… 前田印刷株式会社

ツイッター …… @UTsukubaosd

サイト …… <http://dac.tsukuba.ac.jp/shien/>
<https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/>

メール …… radd-info@un.tsukuba.ac.jp

電話 …… 029-853-3888

インターネットで検索すると出てきます。

自分の特性を考えるため、周りの人に自分の特性を伝えるため、周りにいる人の特性をよく理解するために、ぜひ読んでみてください。

特性について学んだあとは、対応するときに気をつけることを、ロールプレイ方式で学びました。実際に体験することで、声掛けするときの距離や声の大きさ、トーンなどによって受け取る側の感じ方が違うことがわかり、とても深い気づきになったようでした。

今回参加してくださった方は、お子さんとの関わりの中で何かしら思うところがあって来てくださった方だと思います。そんなみなさんに向けて久武先生は、「まずは自分のことをほめてください。がんばっている自分を自分で認めてあげましょう。」と励ましてくださいました。

最後に、『**体は「食べたもの」でつくられる。心は「聴いた言葉」でつくられる。未来は「語った言葉」でつくられる。**』という素敵な言葉を教えてくださいました。

食べるものに気遣うように、自分が話す言葉にも気をつけてみましょう。そうすると、心と未来が豊かになるかもしれません。

♡参加したみなさんのアンケートより♡

- ・非常によかった
- ・ほめることの大切さがよくわかった
- ・ほめるときの言葉や話し方（目線・距離など）がとてもわかりやすかった
- ・子どもをほめるときは、その行動をほめること。「子どもを見ているよ」と伝えることが大事だとわかった

ありがとうございました。



ある日の活動のようす

2組の活動中の写真です。まかせて会員さんは、お子さんが退屈しないようにいろいろ工夫をしながら預かってくださっています。いつもありがとうございます♡

パパもママも土曜日に仕事が入ったため、早朝からお昼過ぎまで、まかせて会員さんのお宅で過ごしました。

お昼ご飯は、たこ焼き🍤
材料を切ったり、焼いたり、みんなで一緒に作ったたこ焼き、おいしそうですね♪



パパママともにお仕事で忙しい日曜日、まかせて会員のお宅でお昼過ぎまで過ごしました。

たくさん遊んで、お昼ごはんを食べたあと、お片付けを自分でした。ちょっぴり大きなエプロンがちゃちゃなママみたいで、とってもかわいいです♡





○会員登録の手続き後、内容に変更があった方は必ず連絡をしてください。

例：家族が増えた、住所が変わった など。

※いの町外へ転出される場合は退会手続きが必要です。必ずご連絡ください。

○サポートの依頼や事前打ち合わせの日程調整等、LINE アプリを利用しています。

おかまいない方は、右記にあるQRコードを読み込み、お友達に追加してください。→



～おねがい会員のみなさまへ～

○サポートの依頼について

マッチングが終わっている方は直接まかせて会員に依頼していただくようにしていますが、まかせて会員が引き受けてくださった活動はファミサポにも必ずご連絡ください。

※ファミサポが把握していない活動は、補償保険の適用外になることがありますのでご注意ください。

○おためし体験について

まだ一度も利用したことがない方は、平日10時～15時の間、おためし利用ができます。

●場所：ぐりぐらひろば ●利用時間：最大2時間 ●初めての方限定

ご希望の方は、お早めにご連絡ください。

毎年1回、高知県主催の研修会が実施されており、県内のファミサポアドバイザーとファミサポに関わる自治体職員が集まり、この事業がより充実したものになるよう事例検討や情報共有等を行っています。

令和7年度の研修後には、初めて県内の提供会員（まかせて会員）の交流会が実施されました。実際に活動している会員さんの思いや、これまでの活動を通して感じたこと（嬉しかったこと、しんどかったこと）などを発表し合い、普段聞くことができない率直な意見を聞くことができ、私たち職員にとっても貴重な時間となりました。

いの町からは1名のまかせて会員さんが参加してくださいました。

お忙しい中、ありがとうございました。



いの ★ ファミリー・サポート・センター はっぴい

〒781-2110 吾川郡いの町1400番地 すこやかセンター伊野内 ほけん福祉課

TEL：088-893-3810（ほけん福祉課） 080-2982-8108（ファミサポ専用）

Mail：famisapo@town.ino.lg.jp LINE ID：famisapo520100



▲ホームページ